



「KOYAALA 通信」は、チーム・コヤアラがコヤアラ・クラブ会員に発行するニュース・レターです。年4回発行 発行日(予定) 3月1日、6月1日、9月1日、12月1日



チーム・コヤアラ 活動開始!

コヤアラ

アメリカの先住民、ホビ族は精霊信仰をカチーナという人形に象った。精霊には様々な役目や性格があり、それぞれがユニークな外見をしている。コヤアラはそのひとつ。リオ・グランデ峡谷からの移民から、18世紀初期にホビ族にもたらされたという「道化」(ツク)という名でも呼ばれるコヤアラは、春と夏の日だけに現れ、踊ったり演技をしたりするのだという。集落に着いたときは、屋根から屋根へと伝わりながら、自分の到着を大声で村人に伝え、梯子を伝って滑稽な様子で地面に転がり落ちてくると伝えられている。

イラスト：立川好江

チーム・コヤアラとは

2009年5月30日、東京郊外のライブハウスで小さな集まりがありました。元ドール・フォーラム・ジャパン編集発行人の羽関チエコ(小川千恵子)が呼びかけ、人形の次世代を担う作家たちが力を合わせて時代にあったプロジェクトを自主運営するためのシステムやネットワークづくりをすることを提案したのです。そこから生まれたのが、チーム・コヤアラです。核となるスタッフが、まずは昨年行われたドバイでの人形展に関わりました。以後、スタッフは皆ボランティアで、休日を調整して打ち合わせや業務を行っております。事務局業務は羽関オフィスが担当し、互いの業務をバックアップしあう体制をとることにいたしました。

チーム・コヤアラは、時代の変化を捉えながら、人形文化の国であるこの日本から、豊かな企画やネットワークを発していききたいと思います。

この趣旨には、ロシアを代表する作家、タチアナ・バエヴァやボボヴァ姉妹も賛同、今後の活動で協力しあうことを確認いたしました。将来はこの関係を、世界に広めていききたいと思います。

コヤアラ・クラブとは

チーム・コヤアラでは、年に4回、このニュース・レターを発行いたします。コヤアラ・クラブにご入会頂きますと、ニュース・レターとともに、展示会のDMなどをお送りいたします。また、会員の方は2000円で、DMの同封を委託することができます。

コヤアラ・フェス #00 Dubai Doll Art Exhibition 参加

会期 2009年7月9日(木)～7月23日(木) 17:00～22:00
会場 FESTIVAL CITY CENTER, DUBAI, UAE

チーム・コヤアラ初プロジェクトとして、HAZEKI office 協力の元、ドバイフェスティバルシティセンターにて行われた「Dubai Doll Art Exhibition」に参加しました。日本、オランダ、カナダ、ベルギー、UAE から公称300点もの人形を展示、コヤアラのプロジェクトからは19作家の67点が出品されました。人形と言えば玩具やアクセサリの人形以外は皆無という文化圏。突如として現れた世界の人形作家達による異文化空間は大変注目を集め、会場は連日多くのお客さまで大にぎわい。出品作家たちは連日デモンストレーションを行い、その周囲には常に人だかりがありました。ドバイをはじめ近隣諸国のテレビ局や新聞等の取材も多数受けました。

異文化ゆえに主催者とのコミュニケーションが難しく、トラブルも随時勃発いたしました。しかし結果とすれば、中東を代表するドバイで、日本の人形文化を示すことが出来た良い機会となりました。



伝統衣装姿の先住民の女性たち。イマラティと呼ばれる先住民はドバイでは少数派。先住民は富裕層で、かつ政府が優遇政策をとっています。大挙する参観客の方々に撮影を注意しても焼け石に水。口コミ効果を期待するということになって、出品者は撮影を看過せざるを得ませんでした。

コヤアラ・フェス #01 Dubai Doll Art Exhibition 参加

会期 2009年11月27日(金)～11月29日(日) 12:00～20:00
会場 自由帳ギャラリー 高円寺

日本のアジア・タウンと異名をとる人気の街、高円寺。私たちは、高円寺の「自由帳ギャラリー」で、お披露目も兼ねたささやかなグループ展を開催いたしました。若いお客様が多い場所柄、どなたでも気楽に楽しんでお求め頂けるような作品展示を中心とさせて頂きました。また、廣瀬幸さんのヘナによるタトゥー体験コーナーも珍しく楽しいものでした。

企画から全てをチームで運営するのは初めてでしたが、ご好評をいただき無事に終了することができました。ご来場頂いた皆様、出品者の皆様、ありがとうございます。今回の経験をこれからの企画に生かしたいと思います。

自由帳ギャラリーでのイベントは、年に1回、恒例化する方向です。今回の経験を通して、作品発表の場を探している方のニーズを感じました。いずれ多くの方が作品発表をし、交流できるイベントを目標にしたいと思います。今は確実にできることから一歩ずつ、を課題としています。

出品者(敬称略): 天田わか、石井愛貴、稲田敦、尾花智子、川野美加、くるはらきみ、河野滋子、Sasha Petrova (Russia)、佐藤美穂、杉山久江、鈴木素恵、立川好江、中野久世、西村 FELIZ、Noe、ハミングバード、廣瀬幸、松原輝代子、山吉由利子、yukari、repunkur、HAZEKI office



くるはらきみさんの展示
布針の作品の箱もディスプレイに。
特製のポストカードセットが好評でした。



明るく落ち着いた自由帳ギャラリー。訪れた人形作家に好評で、こちらでの人形展が増えそうです。

第2回世界創作人形展

チーム・コヤアラは、HAZEKI office が企画する第2回世界創作人形展（丸善丸の内本店ギャラリー、4/29～5/5）に協力いたします。まだ詳細は決まっていますが、来日する作家を紹介したり交流するためのイベントの運営などをサポートする予定です。日本における本格的な国際人形展としてスタートした同展は、今年は、世界を舞台に活躍が期待される若手のホープ、ポボヴァ姉妹を招聘。本人達も期待しているのですが状況がなかなか整わず、調整がギリギリまで続いています。昨年発表したエジプトをモチーフにした「CULT」シリーズに、新作を加える予定とか。また、世界の人形コレクター垂涎の的、シセル・ビョースター・スキレがサーニットの一点物の最新作を出品いたします。陽気なオランダ勢やスーパーブロックも来日の意向を表明。乞うご期待！最新情報は3月更新予定の「世界創作人形展」<http://www.nonc.jp/worldningyo/>のウェブサイトなどでご確認ください。（写真は参考作品です。）



ポボヴァ姉妹「CULT」シリーズから



シセル・ビョースター・スキレ「アネット」

ロシアの人形界

羽関チエコ

2007年に『ドール・フォーラム・ジャパン』を終刊した当時、私はロシアの人形界に注目していました。ロシア開放前からアメリカとロシアを行き来していたタチアナ・バエヴァが植えた創作人形の種が確実に育ち、優秀な作家を次々に輩出していたからです。特に社会主義体制で保護されていたアニメーション業界にいたアニメーターが人形作家に転身した例からは、技術、デザイン、色彩共に完成度は高く、かつユニークな作品が多く見られます。

この世界に着目したモスクワのワクタノフ・ギャラリーが市場を開拓し、人形を扱うギャラリーや教室が増えました。これに伴い、「ドール・マスター」という技法を紹介する雑誌が刊行、年に1度「ドール・サロン」というブース形式の展示販売会も開催されるようになり、制作者、ファン、コレクターとともにその数は増していったのです。

しかし弱肉強食、現在のロシア人形界は組織の改変改組の動きがめまぐるしくなっています。モスクワの「ドール・サロン」がサンクトペテルブルグの「ドール・タイム」が分裂、さらに「ドール・ワールド」「ドールズ・オブ・ザ・ワールド」という名称が似て非なる、かつ関係者も入り乱れているような状態が続いているようです。

誰もが日本の人形界に熱い視線を送っています。彼らも6月、10月と、大きなイベントを控えているので、様子を見ながら対応を考えているところです。



リディアの球体関節人形

Lidia

ロシアも球体関節人形ブーム！モスクワのコヤアラ・スタッフ、アンナ・モチャロヴァは最大の球体関節人形ファン。次号ではロシアの状況をお知らせいたします。世界創作人形展では、アンナ注目の新人、リディアが出品いたします。

紙上展 works of members



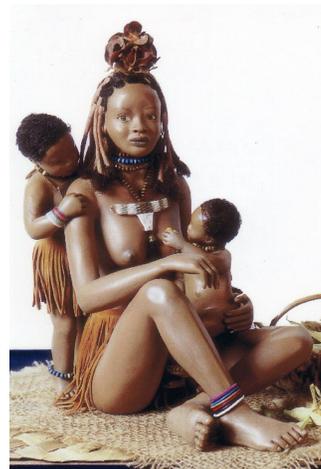
佐々木英俊

「少年 1970」

布、木毛、粘土、和紙、39cm

〔講評〕

後ろに組んだ手の作成に力を入れられたとのことですが、そうであれば、後ろに曲げた腕や肘周りの筋肉にも動きを感じさせたかったですね。でも少年の髪のボリューム感に沿った、飾り気のない少年らしい表情でよくまとまっています。服も今の大人の人の子供時代を思わせる懐かしい色、風合いです。



川口清香

ナミビア共和国ヒンバ族の親子

「世界に平和を！」

石膏、布他、サイズ不明

〔講評〕

肌の張りが若く健康そうな母親と子供の構図は、よくまとまっています。そのわりに伝わるものがないのが残念です。子供を抱える指、大地を踏みしめる足の裏などにもう少し神経を。子供の手の作りも気になります。タイトルの「世界に平和を！」は不要。

コヤアラ・クラブ入会条件

年会費 2000円

年4回（3・6・9・12月）のチーム・コヤアラのニューズレターとDM便が届きます。

お申し込み方法

年会費2000円を以下の方法でご送金ください。

〔郵便振替〕 通信欄に「コヤアラ入会」とお書きください。

送金先「口座番号」00140-7-358370 「口座名」チーム・コヤアラ

*ご入金を確認できたらチーム・コヤアラよりハガキで受領証と会員証を兼ねたお知らせをお送りし、お申し込み時に発行されている最新号から発送を始めます。更新時には、有効期限内の最後の号を発行するときに、更新のお知らせを同封いたします。

DM同封希望の方（発行月から3ヶ月の間に展覧会を予定されている方）

事前に枚数などお問い合わせの上お申し込みください。同封DMは発行月の前月20日にチーム・コヤアラ必着でお送りください。

同封料金：コヤアラ・クラブ会員 2000円 一般（非会員）3000円

紙上展応募の方

会員の方の人形の自作品の写真を受け付けております。

2号×切 2010年5月10日（必着）

以下を下記まで、郵送かメールでお送りください。

作品写真2~3点（全体・アップ・裸形） サイズ：ハガキ大。

「会員番号」「作家名」「タイトル」「素材」「サイズ」他、簡単なコメントなど。

*何点でも応募できますが、誌面の都合上掲載は一人1点になります。

*応募作品はウェブ上で公開されることもあります。（講評は紙面のみ掲載）

*応募書類は返却いたしません。

個人情報について

頂いた個人情報はチーム・コヤアラの業務委託を受けるHAZEKI officeが厳重に管理します。名簿はチーム・コヤアラのニューズレター発送に使用させていただく他、チーム・コヤアラの趣旨に沿ってDMクラブ会員にとって有意義と判断した情報を伝達する以外には一切使用せず、チーム・コヤアラ以外の第三者が閲覧、使用することは一切ありません。

各お申し込み・連絡先

チーム・コヤアラ

東京都東村山市久米川1町3-27-57 HAZEKI office 内

TEL 042-395-7547（担当 ハゼキ）

FAX 042-395-7975

URL <http://www.abauone-net.jp/~koyaala/>

Email team_koyaala@yahoo.co.jp

KOYAALA 通信 編集責任者 羽関チエコ (HAZEKI office)

©KOYAALA TSUSHIN 2010, printed in Japan 本紙記載の記事・写真の無断使用・転載を禁じます。